



砂を使った実験



ハザードマップで避難位置を確認



応急給水体験



アルミマットを敷いて就寝



非常食を体験

8月2日・3日の1泊2日、本郷ふるさと交流館で学校防災総合対策事業が行われ、地元の小・中学生や園児、住民など115人が参加しました。

1日目は、防災無線を合図に地域と合同で避難訓練を実施し、本郷地区の過去の災害状況の説明を受けました。その後、地域の人と小・中学生が協力し作成した、避難する際に注意する場所などが記載してある各地区の危険箇所マップを配布しました。また水道局の給水車からの応急

学校防災総合対策事業

給水体験や救急救命法、ケガの対処法、東日本大震災の救助の講話を聴き、知識を深めました。

翌日は、ハザードマップを使った机上での避難訓練や、土砂災害の実際の映像などを使用した講演を聴きました。

2日間の食事は地域の婦人会による炊き出しが行われ、アルミマットを敷いて就寝するなど、参加者は実際の避難所生活を体験し、災害時に取るべき判断・行動について学びました。

閩本郷小学校 ☎ 2003

避難所生活を体験

市政 PICK-UP



▲給水車

自然・人と触れ合う

7月25日～27日、アイチャレンジ2014（体験型研修事業）が開催され、市内と和木町の小学4年～6年生の児童26人がやましろ地域を訪れました。

初日は錦川での沢トレッキングを体験し、川の流れに身を任せた。岩から飛び込んだりして川遊びを満喫しました。2日目は農業体験でジャガイモの収穫を行い、農作業の大変さや収穫の喜びを体験した後、錦公民館でゲームなどを活用した思い



▲沢トレッキングを体験する児童

体験型教育旅行

やり研修を行いました。

子どもたちは錦町と周辺地域の民泊家庭9軒に宿泊し、それぞれの家庭で一緒に農作物の収穫をしたり、料理を作るなどして交流を深めました。最終日には、お世話になった民泊家庭とのお別れに涙を流す子どももいました。子どもたちは3日間の体験を通じて思いやりの心を学び有意義な時間を過ごしました。

岡錦総合支所地域振興課

☎22110



▲ジャガイモの収穫に挑戦



▲エベレットコミュニティカレッジの日本庭園内にある友好記念橋「岩国橋」で

異なる文化を学んで

青少年海外派遣事業として、夏休み期間の7月19日～8月3日まで14泊16日の日程で、姉妹都市である米国エベレット市を高校生10人が訪れました。

高校生たちは、一般家庭にホームステイしながら現地のエベレットコミュニティカレッジで語学研修や文化交流を体験しました。語学研修では日本とアメリカの文化や生活の違いなどについて学び、活動研修では地元の子どもたちに習字や折り紙、

青少年海外派遣事業



▲エベレット市の子どもたちに習字を教える高校生

日本の伝統的な遊びなどを教えました。またシアトルにあるボーイング社の工場やネイティブインディアン記念博物館の見学、野球観戦や消防署を訪問して見識を深めたり、現地の留学生の経験談を聞いたりと、貴重な体験をしました。

31日にはサヨナラパーティーを行い、ホームステイ先の家族に英語で感謝の気持ちを伝えました。

岡都市交流室 ☎25018